



投・攻・守かみ合う

鹿実 5年ぶり決勝へ

又六鹿

準決勝			
出水商	010	002	000 = 3
鹿児島実	201	001	00x = 4
(出)森園	中尾	新町	
(実)岩下	湊崎		



号外

第50回NHK旗争奪県選抜高校野球大会第6日は6月1日、鹿児島市の県立鴨池球場で準決勝2試合があった。第2試合は鹿児島実が序盤にそつない攻めで先制。中盤以降、出水商の粘りで同点に追いつかれたが6回に竹原健亮の右越え二塁打で再び勝ち越し、最後は先発の岩下圭を中心とする堅守でリードを守り抜いた。【政純一郎】

光った走塁と守り

と森田祐司の右前適時打で先制。さらには一走の上坊銀河が一気に三塁を陥れ、有川真平の右前適時打で2点目を挙げた。三回には一死二塁で湊崎の当たりは二遊間に大きく弾む内野安打。二走上坊は「(二塁を回ったところで)止まるうかとも思ったけど、一塁手が一塁に投げたのを見て思い切っただけでみた」と3点目のホームラン滑り込んだ。写真。六回に同点に追いつかれたが、「2年生の思い切り良さ」(宮下正一監督)を買って途中出場した竹原健亮の右越え三塁打で決勝点を挙げた。先発の岩下圭は時折ボールが高めに浮いて制球を乱すも、要所を締めていた。1点差で迎えた九回に先頭打者を出し、大きなヤマ場を先発の岩下圭は時折ボールが高めに浮いて制球を乱すも、要所を締めていた。1点差で迎えた九回に先頭打者を出し、大きなヤマ場を迎える。犠牲バントで得点圏

序盤で主導権を握った鹿実が、苦しみながらも接戦を制し、5年ぶりの決勝進出を決めた。先の塁を果敢に狙う走塁と、積極的にアウトを取りに行く攻撃的な守りが光った。初回、無死一三塁といきなり先制のチャンスを作る

に進められると「打同点のやっかない場面だったが、岩下は果敢なフイーティングで16、3の併殺に打ち取り、勝利を決定付けた。先頭打者を出した直後、伝令が出てマウンドに集まった際に岩下は、「(二塁アウトを狙う)からと自ら言い切ったという。練習では何度もやってきたことだが、「こ一番でやってくれたことが大きい」と宮下監督。相手をかき回す走塁、つながら打線起用に応える選手、ゲームを作る投手、攻めの守り...1試合ごとに課題をクリアして、チームが目指す野球が確立しつつある。3試合連続の「フル勝ち」から一転、緊迫した接戦だったが、「こいつ」試合を経験できたことが夏の力になりますと、宮下監督はまたひとつ大きな手ごたえをつかんだ様子だった。

